

ED6200H₂ 型

ロングクローラ式

クレーン仕様

アースドリル

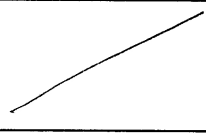
仕様書

配布先	部数
客先	2
営業部	1
控	1
合計	4

2013年10月

日本車輛製造株式会社

機電本部

承認	担当	立案
 		

記号		年月日	担当	承認

(配布) 13 年 10 月 31 日

資料 No. F5-7113-〇

ED6200H₂ 型

ロングクローラ式

クレーン仕様

アースドリル

仕様書

配布先	部数
客先	2
営業部	1
控	1
合計	4

2013年10月

日本車輛製造株式会社

機電本部

承認	担当	立案
 		

記号		年月日	担当	承認

ED 6 2 0 0 H - ₂ 型

ロングクローラ式

クレーン仕様

アースドリル

仕様書

日本車輛製造株式会社

機電本部

目 次

	頁
【1】アースドリル仕様本体仕様	2
【2】アースドリル仕様全体外観図 (new ACE 2044)	3
【3】アースドリル仕様全体外観図 (new ACE 2248)	4
【4】アースドリル仕様標準作業半径	5
【5】アースドリル仕様最大作業半径	6
【6】アースドリル仕様最大掘削深さ	7
【7】アースドリル仕様補助吊りクレーン能力	8
【8】クレーン仕様本体仕様	9
【9】クレーン仕様外観図 (基本ブーム)	10
【10】クレーン仕様外観図 (最長ブーム)	11
【11】クレーン仕様定格総荷重表 (主ブーム)	12

【1】アースドリル仕様本体仕様

ブーム長さ		25 m
ブーム構成		7 m ロア + 2 m + 4 m + 6 m + 6 m アップ
最大掘削径	軸掘バケット	3000 mm
	拡底バケット	4400 mm
最大掘削深度 (ケリーバのみ)		65 m (フレーム下方位置)
バケット回転 トルク	高トルク (正転/逆転)	108/118 kN・m (11/12 tf・m)
	低トルク (正転/逆転)	59/59 kN・m (6/6 tf・m)
ケリーバ押し下げストローク		700 mm
ロープ径	主巻	φ28 mm
	補巻	φ28 mm
補助吊り能力		15 ton × 8.4 m
作業 速 度	バケット回転数 (高/低)	注1 18/9 min ⁻¹
	主巻 (バケット) 巻上/巻下	注1 45/26 m/min
	補巻 (補助吊り) 巻上/巻下	注1 45/26 m/min
	ブーム巻上/巻下	注1 53 m/min
	旋回	2.8 min ⁻¹
走行速度		注1 1.4 km/hr
輸送時登坂能力		40 %
注2 定格出力		182kW/2100min ⁻¹ (247ps/2100rpm)
全装備質量 (バケット無し)		約87 ton
カウンタウエイト構成		6.5ton + 5.5ton × 3 = 23ton
平均接地圧 (バケット無し)		109 kPa

注1, 負荷により変化します。

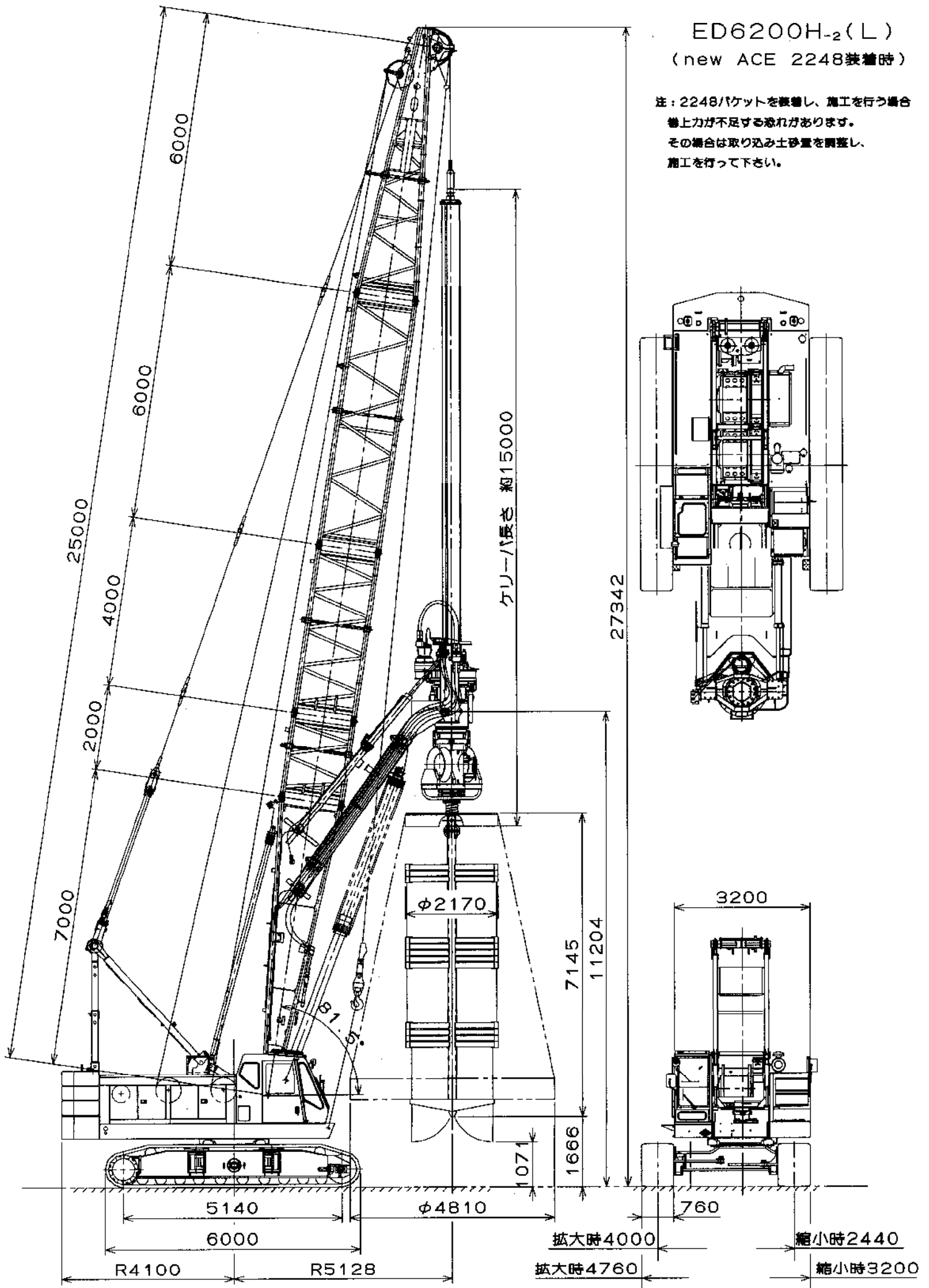
注2, オフロード法対応 (少数特例基準適合)

(new ACE 2044装着時)

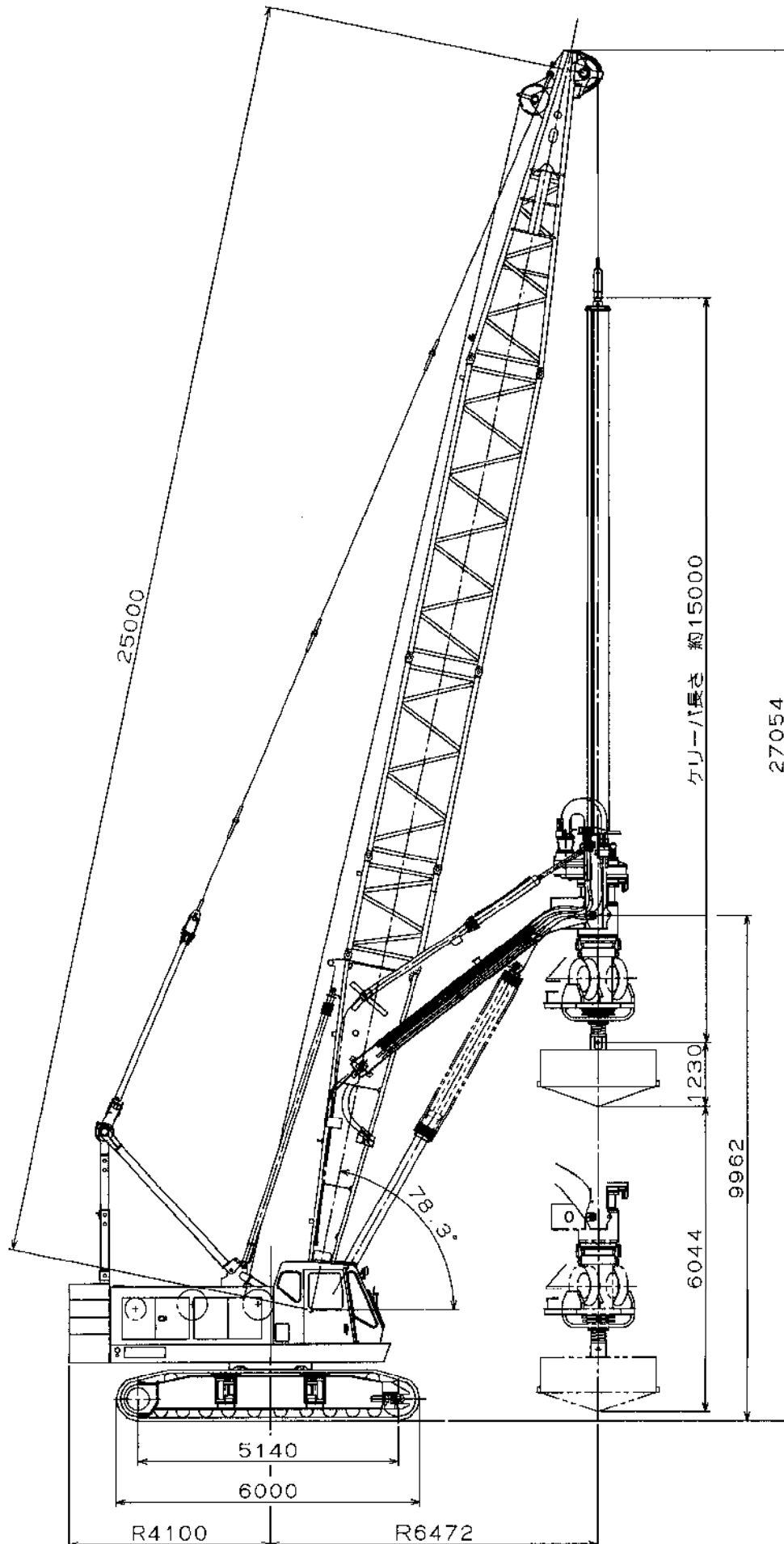


ED6200H-2(L)
(new ACE 2248装着時)

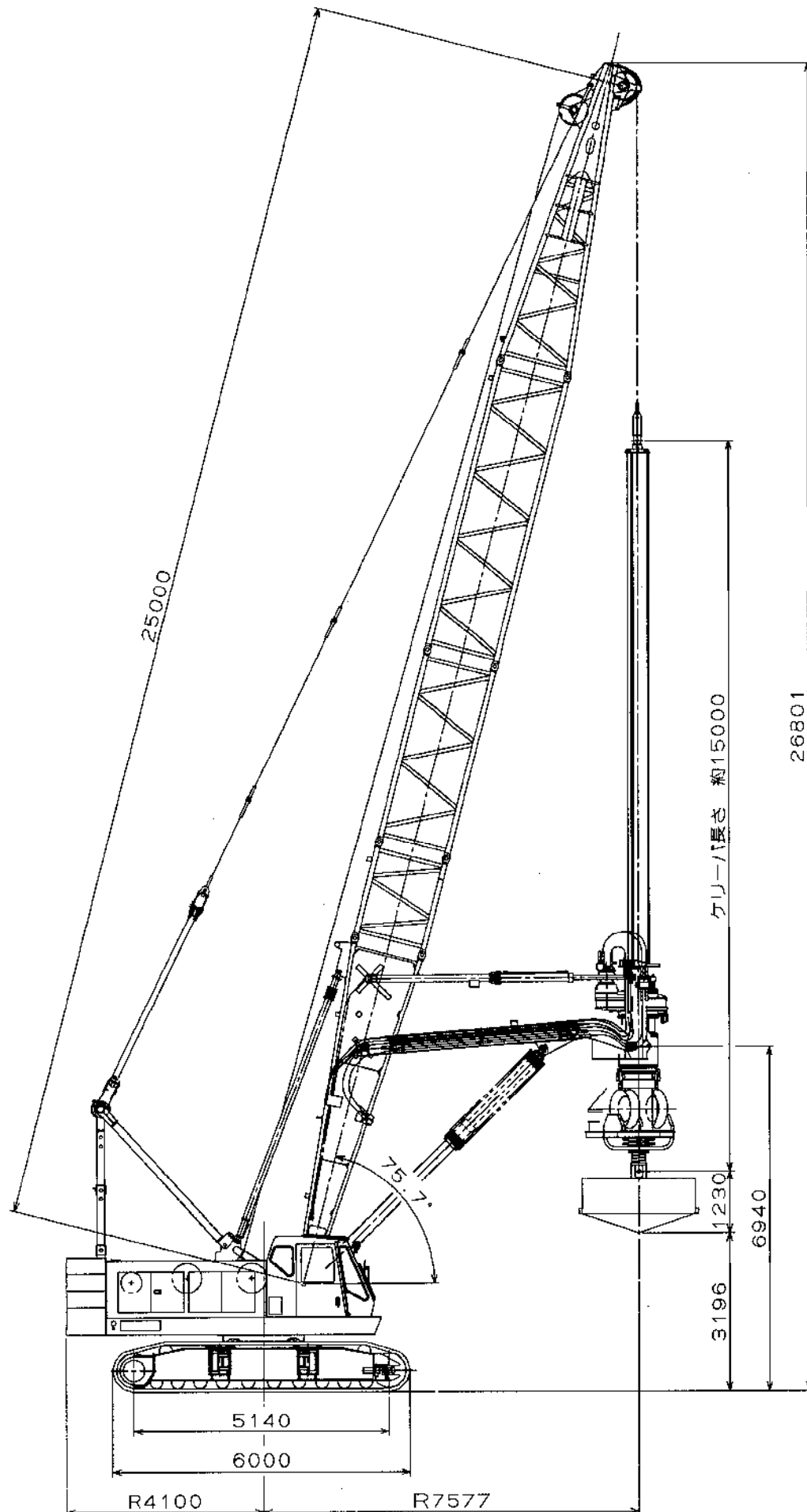
注：2248/バケットを装着し、施工を行う場合
巻上力が不足する恐れがあります。
その場合は取り込み土砂量を調整し、
施工を行ってください。

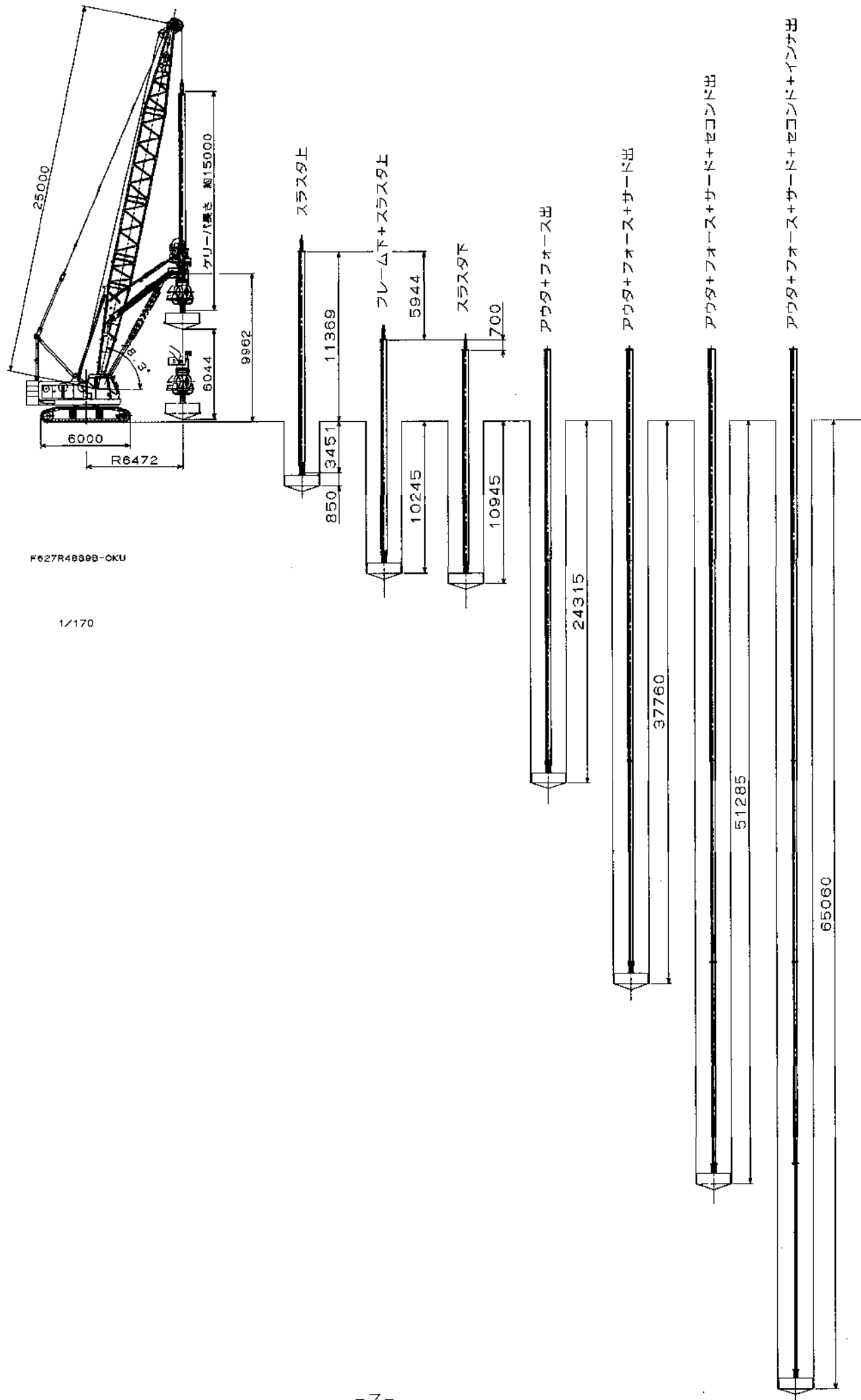


ED6200H-2(L) 標準作業半径



ED6200H-2(L) 最大作業半径時



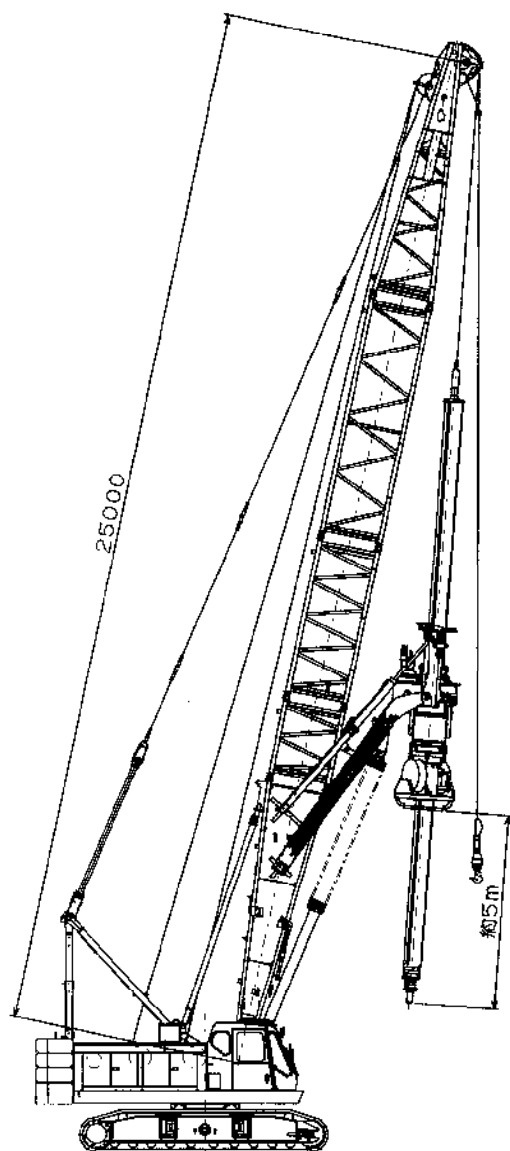


F627R4839B-OKU

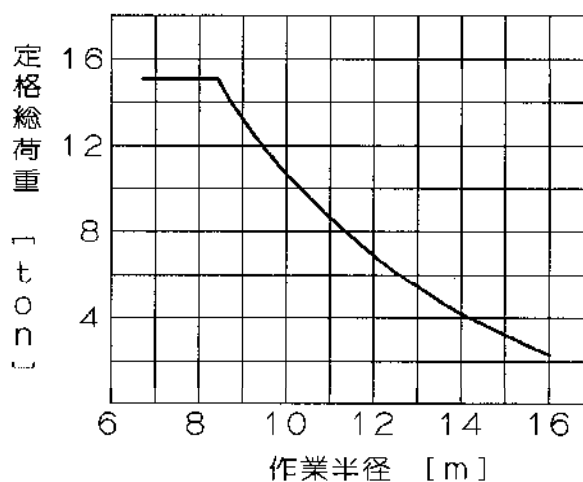
1/170

ED6200H-2(L)

定格総荷重表 (ロータリーテーブル付)



作業半径 [m]	ブーム角度 [°]	定格総荷重 [ton]
6.7	77.9	15.0
7.0	77.1	15.0
8.0	74.8	15.0
8.4	73.8	15.0
9.0	72.4	13.2
10.0	69.9	10.7
12.0	64.9	6.9
14.0	59.7	4.2
16.0	54.2	2.3



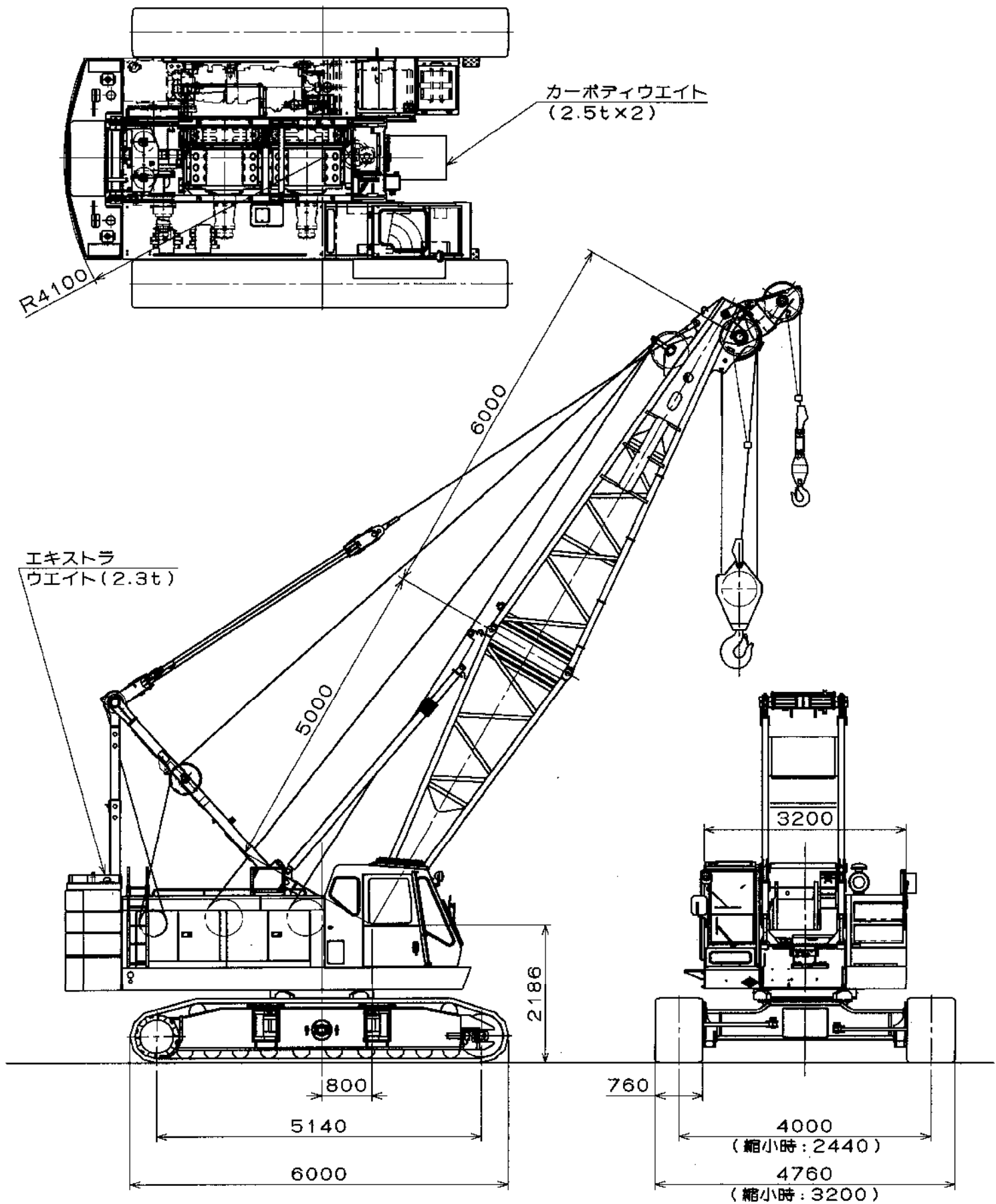
1. クレーン作業は、必ずバケットを取外してください。フレーム調整シリンダをフルフレーム起伏シリンダを最長まで伸ばし、次にフレーム調整シリンダを固定し、ケリーバ下端を駆動装置下端より5m位下げた状態で行なって下さい。
2. クレーン作業時はケリードライブを一番下まで下げた状態で行って下さい。(フックとケリードライブが干渉します。)
3. 定格総荷重は水平堅土における値で、転倒荷重の78%以内を示します。
4. ロータリーテーブルは、必ず横長方向でロック状態にし、回転させないで下さい。(テーブルが起伏シリンダに干渉します)
5. 定格総荷重表以外の範囲では作業を行なわないで下さい。
6. 補助フックの重量は140kgです。

【8】クレーン仕様本体仕様

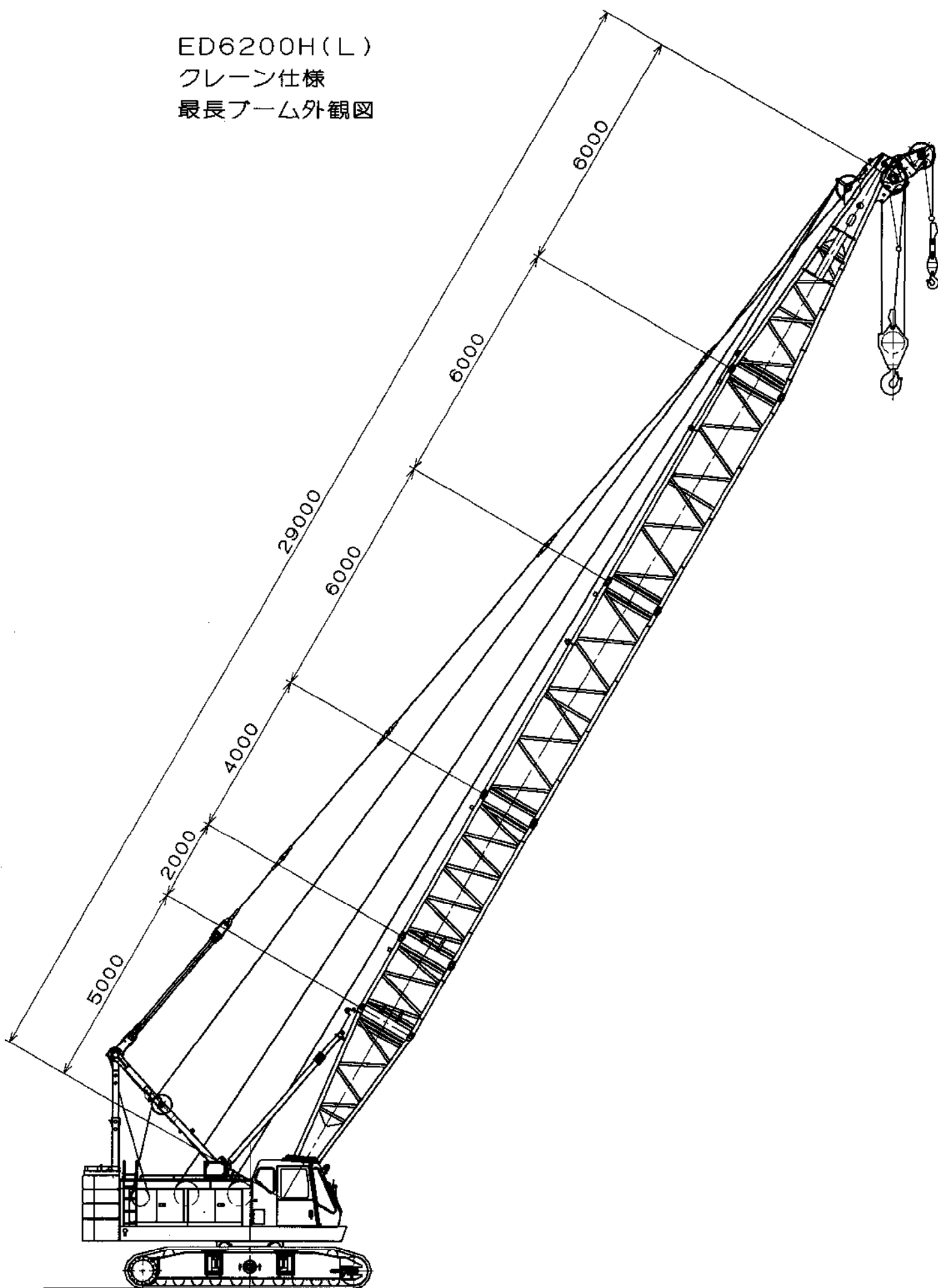
最大吊荷重	6.5 ton×4 m
基本ブーム長	5 m ロア + 6 m アップ = 11 m
最大ブーム長	5 m ロア + 2 m + 4 m + 6 m×2 + 6 m アップ = 29 m
主巻 巻上／巻下	注1 4.5 / 2.6 m/min
補巻 巻上／巻下	注1 4.5 / 2.6 m/min
サード 巻上／巻下	注1 5.6 / 2.9 m/min
ブーム 巻上／巻下	注1 5.3 m/min
旋回速度	2.8 min ⁻¹
走行速度	注1 1.4 km/hr
主巻ロープ径	φ 28 mm
補巻ロープ径	φ 28 mm
サードロープ径	φ 24 mm
ブームロープ径	φ 16 mm
作業時質量(基本ブーム+6.5 ton フック)	約 7.5 ton
カウンタウエイト構成	6.5 ton + 5.5 ton×3 + 2.3 ton = 25.3 ton
カーボディウエイト	2.5 ton×2 = 5 ton
平均接地圧 (基本ブーム)	9.5 kPa

注1：負荷により変化します。

ED6200H(L)
クレーン仕様
基本ブーム外観図



ED6200H(L)
クレーン仕様
最長ブーム外觀図



●主ブーム定格総荷重表

(全周吊:t)

作業半径 (m)	11m ブーム	13m ブーム	15m ブーム	17m ブーム	19m ブーム	21m ブーム	23m ブーム	25m ブーム	27m ブーム	29m ブーム	作業半径 (m)
3m	65.0	65.0/3.4m									3m
3.5m	65.0	65.0	60.0/3.7m								3.5m
4m	65.0	65.0	60.0	55.0/4.1m	55.0/4.4m	55.0/4.8m					4m
5m	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	50.0/5.1m	47.0/5.5m	45.0/5.8m		5m
6m	45.9	45.8	45.7	45.6	45.5	45.4	45.3	45.3	45.0	42.5/6.2m	6m
7m	36.5	36.3	36.2	36.1	36.0	35.9	35.8	35.8	35.7	35.6	7m
8m	30.2	30.0	29.9	29.8	29.7	29.6	29.5	29.4	29.4	29.2	8m
9m	25.7	25.5	25.4	25.3	25.2	25.1	24.9	24.9	24.8	24.7	9m
10m	22.3	22.1	22.0	21.9	21.8	21.7	21.5	21.5	21.4	21.3	10m
12m	20.9/10.5m	17.4	17.3	17.2	17.0	16.9	16.8	16.8	16.7	16.5	12m
14m		17.0/12.2m	14.2	14.0	13.9	13.8	13.6	13.6	13.5	13.3	14m
16m				12.1/15.7m	11.6	11.5	11.4	11.3	11.2	11.1	16m
18m					10.4/17.4m	9.8	9.7	9.6	9.5	9.4	18m
20m						9.0/19.2m	8.3	8.3	8.2	8.1	20m
22m							7.8/20.9m	7.2	7.2	7.0	22m
24m								7.0/22.6m	6.3	6.1	24m
26m									3.2/24.3m	5.4	26m
28m										4.8	28m
ロープ掛数	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3	ロープ掛数
ブームの 傾斜角	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	ブームの 傾斜角

※表中太線で囲まれた部分は、ブーム強度等で定められた値です。

●サード定格総荷重表

(全周吊:t)

作業半径 (m)	11m ブーム	13m ブーム	15m ブーム	17m ブーム	19m ブーム	21m ブーム	23m ブーム	25m ブーム	27m ブーム	29m ブーム	作業半径 (m)
3m	51.0	51.0/3.4m									3m
3.5m	51.0	51.0	51.0/3.7m								3.5m
4m	51.0	51.0	51.0	51.0/4.1m	51.0/4.4m	51.0/4.8m					4m
5m	51.0	51.0	51.0	51.0	51.0	51.0	50.0/5.1m	47.0/5.5m	45.0/5.8m		5m
6m	45.9	45.8	45.7	45.6	45.5	45.4	45.3	45.3	45.0	42.5/6.2m	6m
7m	36.5	36.3	36.2	36.1	36.0	35.9	35.8	35.8	35.7	35.6	7m
8m	30.2	30.0	29.9	29.8	29.7	29.6	29.5	29.4	29.4	29.2	8m
9m	25.7	25.5	25.4	25.3	25.2	25.1	24.9	24.9	24.8	24.7	9m
10m	22.3	22.1	22.0	21.9	21.8	21.7	21.5	21.5	21.4	21.3	10m
12m	20.9/10.5m	17.4	17.3	17.2	17.0	16.9	16.8	16.8	16.7	16.5	12m
14m		17.0/12.2m	14.2	14.0	13.9	13.8	13.6	13.6	13.5	13.3	14m
16m				12.1/15.7m	11.6	11.5	11.4	11.3	11.2	11.1	16m
18m					10.4/17.4m	9.8	9.7	9.6	9.5	9.4	18m
20m						9.0/19.2m	8.3	8.3	8.2	8.1	20m
22m							7.8/20.9m	7.2	7.2	7.0	22m
24m								7.0/22.6m	6.3	6.1	24m
26m									3.2/24.3m	5.4	26m
28m										4.8	28m
ロープ掛数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	ロープ掛数
ブームの 傾斜角	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	80° ~ 30°	ブームの 傾斜角

※表中太線で囲まれた部分は、ブーム強度等で定められた値です。

● 定格総荷重表（注意事項）

1. 定格総荷重はクローラ拡張時の値です。作業を行う場合には、必ずクローラを拡張し、ハイガントリにしてください。
2. 定格総荷重は水平堅土上における値で、転倒荷重の 78% 以内、および移動式クレーン構造規格に定める前方安定度 1.15 以上です。
3. 作業半径とは、旋回中心からフックの中心までの水平距離をいいます。
4. 実際に吊り上げられる荷重は、前表の定格総荷重の値からフック、バケット等の吊り具一切の質量を差引いた値になります。
5. 補助シーブの定格総荷重は、そのシーブを装着する主ブーム長さの定格総荷重から 0.4t を差引いた値になりますが、最大定格総荷重 15t を越えないでください。尚、主フックを装着した場合、補助シーブで実際に吊り上げられる荷重は、上記により求めた定格総荷重から更に「主フック＋補フック」等の吊り具一切の質量を差引いた値になります。
6. 補助シーブを装着した場合の主ブームの定格総荷重は、前表の値から 0.7t(補フックの質量を除く)を差引いた値になります。
7. ロープ掛数に対する最大巻上荷重とフックの質量は下表の通りです。

フック 容量 (ton)	フック 質量 (kg)	定格総荷重の最大値 (ton)				
		5 本掛け	4 本掛	3 本掛	2 本掛	1 本掛
65	890	65.0	55.0			
51	740		51.0	37.5	25	12.5
15	300					15.0

8. サードロープ掛数に対する最大巻上荷重とフックの質量は下表の通りです。

フック 容量 (ton)	フック 質量 (kg)	定格総荷重の最大値 (ton)					
		6 本掛	5 本掛	4 本掛	3 本掛	2 本掛	1 本掛
51	740	51.0	42.5	34.0	25.5	17.0	8.5